

平成27年度第1回市民と議会のつどい（議会報告会）実施報告書

開催日時	平成27年8月23日（日） 午前9時30分 ～ 11時25分	
開催場所	アスパアやましろ 視聴覚・研修室	
担当議員	班代表者	西山幸千子
	司会者	尾崎 輝雄
	報告者	谷川 光男 山本 和延
	記録者	炭本 範子 森本 茂
	班員 (上記以外)	倉 克伊 森岡 譲
参加人数	6人	
主な質疑・意見等	<p>Q：新聞への軽減税率の請願・意見書から、「衣食住に次いで大事なもの」と書かれているが、そんなに大事なものかなと思う。新聞を購入していない人もいる。</p> <p>A：会派として請願には反対した。軽減税率は必要ということから意見書には賛成した。</p> <p style="padding-left: 2em;">反対した理由は、消費税の軽減税率の制度が決まっていないため。また、新聞を購入していない人もいる。</p>	
	<p>Q：石綿管布設替えの項と水道料金の引き下げの議員発議から、市民の安全と命を守る大きな視点で考えると布設替えはすぐにでもしてほしい。計画的にという言葉で濁している。</p> <p style="padding-left: 2em;">また、水道料金の引き下げは、府営水道料金が下がったから下げるという単純なものではいけない。更新事業があるので水道料金を引き下げないようにしてほしい。</p> <p>A：石綿管の破裂事例もあり、改修費用に当て、安全を重視する立場で議員発議には反対した。</p> <p style="padding-left: 2em;">また、賛成した理由は、物価が値上がりする中での議案の提出である。合併して引き上げられた中、少しでも安くという思いからである。</p>	
	<p>Q：高浜原発を再稼働しないことを求める意見書について、福島原発の今の状況から、議員は命と暮らし、財産を守る立場から（再稼働に）反対すべきではないか。</p> <p>A：高浜原発については国の考え方がある。ここでは、議員の意見は述べない。</p>	
	<p>Q：クリーンセンターについて、補正予算に計上された経緯を説明してほしい。大幅に上げることに問題はなかったのか。</p> <p>A：建設資材や労務費などの高騰によるものである。造成工事については、地質により工事費がかさんだ。民間との契約に違いがある。</p>	
	<p>Q：（質問内容が不明）</p> <p>A：（回答内容が不明）</p>	

Q：全体の予算について、出ていくお金が大きい。収入源をどこに求めるかの一般質問がない。議員は市民の代表である。懐を大事にする観点から、「使い勝手の良いお金をどうしたらよいか」という議論がない。議員の中でもっとその方向性を持ってほしい。今は公共施設の負担がある。30年後どうするかを考えてほしい。今住んだ人が、今後も住みたいまちづくりに期待したい。

A：健全財政に向けてどう収入を増やすのかは考えなければならない。個人としては、環境に関する税など新しい税金を考える必要があると思う。

予算委員会では、決まった収入、今ある枠の中では議論しているが、国の交付税が減る中で、ふるさと納税や開発協力金等も考えながら、収入をどこに求めるかは議論していかなければならない。

Q：地域福祉の充実の中で、社会福祉協議会への予算と社会福祉協議会の会費との関係はどうか。

A：市が総額6600万出しており、多くは人件費についての補助である。詳しくは社協だよりに掲載されている。

Q：防犯カメラの設置について、どこに付けるかを地域長に問われた。加茂は広く、長い距離であり問題になっていた。

A：3カ所の設置場所については、警察、行政、学校、保護者、地域の方の理解と協力が必要であり、そこで判断される。

Q：通学路についてはペンキの色で表示している。今年の予算に計上しているのか。

A：540万円の計上は、相楽小学校、木津小学校、棚倉小学校、南加茂台小学校、加茂小学校、恭仁小学校である。府道については府に要望し表示される。

Q：ごみ減量等推進審議会で出された意見の反映は。今回は聞こえてこない。

A：委員さんの努力は直接反映していて、ごみの総量は減っており、人口が増える中、住民の方の努力が見える。

Q：都市計画道路 東中央線の完成はいつごろか。

A：平成29年度中に開通する予定。国、府の負担以外に木津川市は13.5%8億3000万円が必要である。天神山線(国道163号線バイパス)は国費である。

Q：20年ほど前ぐらいから猫のふん害に困っている。解決方法として条例化してほしい。京都市では条例がある。美しいまちづくりを推進する条例の改正もやってほしい。エサやりしない条例でも良い。去勢手術に補助している自治体がある。

A：一般質問にも取り上げた。この問題は担当課に伝える。改正に向けて取り組む。

	<p>Q：買い物難民が多い。個人の店で対応できない。オンデマンドバスの検討をお願いしたい。</p> <p>A：行政に伝える。 議員も取り組むが、地域公共交通連携協議会や地方創生の中で住民の意見として言ってほしい。</p> <p>Q：学校のトイレの記事から問う。危機管理の観点から体育館の中に洋式トイレを増やしてはどうか。議員は把握しているか。 パイプを伏せて、いざという時に結ぶという案をもっている。</p> <p>A：新築された学校には洋式が多い。避難の場合の対応と学校生活の場合の両方を考えられている。洋式トイレを48%に持っていく考えである。 災害時には必要なのでそのことについては、検討の上調べる。</p>
質問・要望等で行政側へ報告すべき内容	<ul style="list-style-type: none"> ・猫のふん害等による被害のため条例制定等対策を講じてほしい。 ・近くに商店がなく、買い物難民の解消ため、オンデマンドバスの検討をしてほしい。 ・市民の生活にとって水は大切なものである。早期に石綿管等の敷設替えを行い、水道の安定的な供給を図ってほしい。
その他特記事項	なし

上記のとおり、報告します。

平成27年9月7日

木津川市議会議長 倉 克伊 様

平成27年度第1回議会報告会

第2班 代表者 西山幸千子

Ⓜ